

第 43 回全国木材産業振興大会
新たな木材利用への挑戦で木材産業の再興
—「木づかい」でCO2の削減・豊かな生活—

宣言決議

木材は、現在の国民の住生活を支え、未来の低炭素社会の実現に不可欠な資材である。このため、木材業界は「木づかいで二酸化炭素の削減・豊かな生活」を消費者・需要者とともに実現する使命をもっている。

しかしながら、我が木材業界を巡る経営環境は、需要の低迷、原油の高騰、金融不安の中で、かつてない厳しさがある。この危機を乗り越えるためには、我々の不断の努力に加えて、木材産業の再興のための万全な政策的な支援が必要となっており、これを実現しなければならない。

この状況の下、我々は今こそ、下記の優先課題に対して、多様な連携の下に英知を結集して行動し、木材産業の未来を切り拓いていかなければならない。

1. 木材産業の危機突破のため、総合的な緊急対策を早期に実現しよう
1. 住・生活空間への木材利用の拡大、木質バイオマスの活用・普及を推進しよう
1. 違法伐採対策を前進させ、合法木材の普及・利用推進に取り組もう
1. 安全・安心への期待に応え、JAS 製品など、信頼性の高い木材の普及・定着に全力を挙げよう
1. 炭素を固定する木材利用推進減税、住宅ローン減税、森林吸収源対策の税制を実現しよう

以上、宣言決議する。

平成 20 年 10 月 22 日

第 43 回全国木材産業振興大会